

第 25 期 臨床医学委員会循環器・内分泌・代謝分科会（第 1 回）

議事概要

開催日時：2021 年 4 月 28 日（水）15:00 - 16:00

開催場所：ウェブ会議

出席者：別表参照

議事概要：

1. 出席委員自己紹介

出席各委員より自己紹介があった。

2. 会長・副会長選出

委員長は自薦で山本委員、副委員長は委員長指名で荒井委員が選出された。

3. これまでの活動状況確認

2017 年に報告を発出（23 期）、24 期はコロナの影響もあり文書類の発出はなかった。また、2019 年 3 月に、循環器・脳卒中对策基本法の制定を受けた公開シンポジウムを開催した。

4. 25 期の活動内容について（自由討論・以下敬称略）

- ・今後、コロナの影響で身体活動の低下が顕著になっていて、今後は生活習慣病や認知症の悪化が懸念されるため、このテーマで機動的に発信するのはどうか。予算面を考えると youtube などを使った公開シンポジウムなどがかんがえられる。（荒井）

- ・高齢者の健康寿命を規定するのはサルコペニア、フレイルである。若年者から高齢者までを含めた生活習慣病の総合的な対策として、時間的、空間的な広がりをもった領域横断的な検討をすべきである（門脇）

- ・生活習慣病の予防として、学校教育が重要であるが、循環器・脳卒中对策基本法によって学校教育に組み込まれるのを期待している。（稲垣）

- ・がん対策基本法によって、がん教育が学校教育に入ったが、それと同等以上に重要また、妊娠年齢の若年女性への教育も重要。小中学校は食育などされているが、特に高校・大学生に向けた教育ができていないので、その世代への食育などの教育が重要。（児玉）

- ・がん教育は 2017 年に学習指導要領に入り、今年から教科書に掲載された。学習指導要領は 10 年に 1 回の改定で、5 年前から作業がはじまるので、次回改定に入れ込むべく活動したい（小室）

- ・別の分科会で議論したことだが、アカデミーとしてどのように実行力を発揮して具現化させるかが重要。文書を出すにもシンポジウムを開催するにも、誰にどのような影響を及ぼすべきかということを考えてやっていく必要がある。日学自体は実行部隊ではないので、実行部隊となる学協会や行政に影響力を及ぼすのが重要。（澤）

・日学がこれまで各省庁に向けて提言などを出していると思うが、その内容がどの程度実行されているのか。これまでの文書がどのように扱われたかを検証してみてもどうか。

(児玉)

- ・小児期の教育は非常に重要 (斯波)
- ・個別学会ではリソースに限界があるので、この分科会で共通部分に対処するのは重要。一方で、個別の学会にとっては日学のプレゼンスが薄いように感じるので、日学から学会への情報発信も重要と考える (柏原)
- ・一般社会への発信手法も重要 (田中)
- ・教科書への掲載は重要。行政に働きかける必要がある。(竹石)
- ・まずはシンポジウムを開催し、そこで一般市民等からのインプットをもらって、それを反映する形で提言をまとめると良いかもしれない (山本)
- ・循環器・内分泌・代謝性疾患の多くは、発症時期は人生の後半期が主だが、実際にはライフサイクルの前半期から注意が必要であり、ライフサイクルの各時期に効果的な教育、情報提供、動機付けを考えていく必要がある (山本)

5. 次回以降の開催について

- ・議事概要案を作成し、出席者の推敲を経てメンバーで共有
- ・2017年の報告の内容の実行状況を検証 (山本委員が対応)
- ・次回学習指導要領改定の作業状況を調査、情報共有 (児玉委員が対応)
- ・分科会開催は原則年1度、当面はメールベースで議論を進める

6. その他

なし

資料：

1. 分野別委員会_分科会等設置提案_25期循環器分科会案
2. 4月総会資料より抜粋

(臨床医学委員会循環器・内分泌・代謝分科会)

氏名	所属・職名	備考	出欠 (予定)
荒井 秀典	国立長寿医療研究センター理事長	第二部会員	出
澤 芳樹	大阪大学大学院医学研究科心臓血管外科教授	第二部会員	出
山本 晴子	独立行政法人医薬品医療機器総合機構理事長特任補佐・医務管理監	第二部会員	出
磯部 光章	日本心臓血管振興会附属榊原記念病院院長	連携会員	欠
稲垣 暢也	京都大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌・栄養内科学教授	連携会員	出
柏原 直樹	川崎医科大学腎臓・高血圧東北大学大学院 文学研究科教授、川崎医科大学副学長	連携会員	出
門脇 孝	国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長、東京大学大学院医学系研究科糖尿病・生活習慣病予防講座特任教授、帝京大学医学部附属溝口病院病態栄養学講座常勤客員教授	連携会員	出
木原 康樹	地方独立行政機関神戸市民病院機構神戸市立医療センター中央市民病院院長	連携会員	欠
児玉 浩子	帝京平成大学特任教授	連携会員	出
小室 一成	東京大学大学院医学系研究科循環器内科学教授	連携会員	出
斯波 真理子	国立循環器病研究センター研究所病態代謝部部長・再生医療部部長、動脈硬化糖尿病内科部長	連携会員	出
竹石 恭知	福島県立医科大学医学部長	連携会員	出
田中 敏博	東京医科歯科大学大学院疾患多様性遺伝学分野教授	連携会員	出
肥塚 直美	東京女子医科大学・理事	連携会員	欠